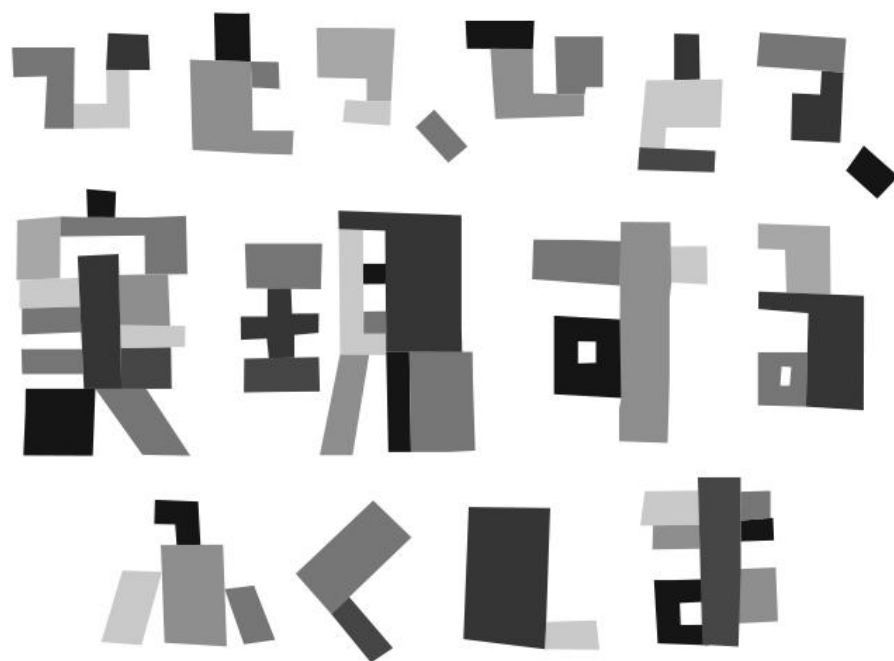


事業計画

令和8年度



福島県ハイテクプラザ

INDUSTRIAL TECHNOLOGY INSTITUTE FUKUSHIMA PREFECTURAL GOVERNMENT

福島県ハイテクプラザ事業計画

令和8年度

目 次

※ ㊦は「県の重点プロジェクト」、【新】は「令和8年度新規事業」

※ 以下「福島県ハイテクプラザ」を「ハイテクプラザ」という。

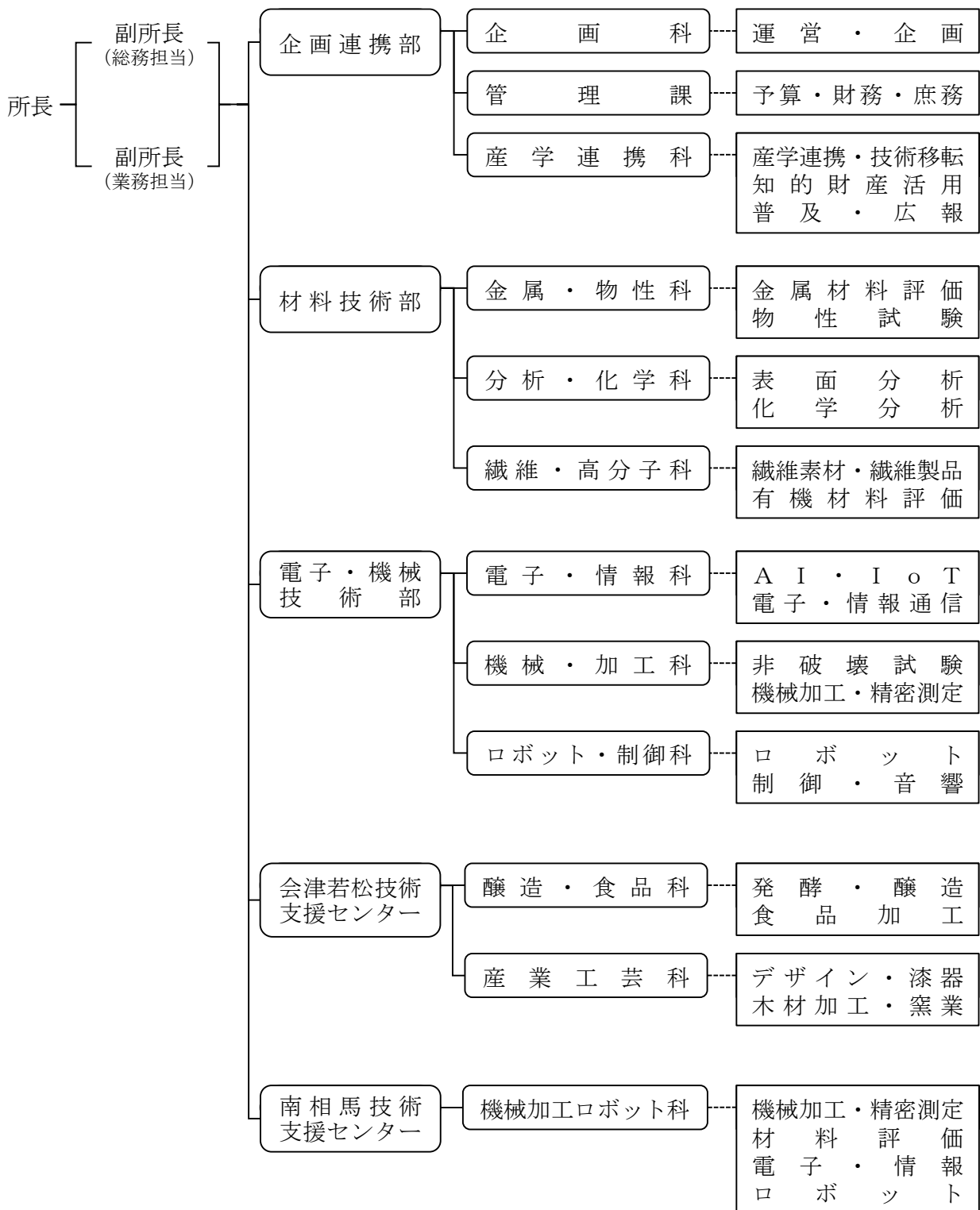
1	ハイテクプラザ組織と事業方針	1
1-1	<u>ハイテクプラザ組織</u>	1
1-2	<u>ハイテクプラザ第Ⅲ期中期ビジョン【要約】</u>	2
1-2-1	基本方針	2
1-2-2	ハイテクプラザの果たす役割	2
1-2-3	五年後の目指す姿	2
1-2-4	基本活動	2
2	事業計画概要	3
2-1	<u>研究開発</u>	3
㊦	【しごとづくりプロジェクト】関連事業（全1事業：2-1-1）	
2-1-1	デジタル技術を活用したものづくり企業のスマート化支援事業	3
	（1）地域産業の魅力向上支援事業	
	① 製造技術のデジタル化に向けた日本酒 I o T実証研究	
	② 繊維素材の風合い及び特性の可視化技術に関する研究	
	（2）デジタル技術高度化支援事業	
	① 【新】製造業DXのための生産スケジューリング最適化に関する研究	
㊦	【産業推進・なりわい再生プロジェクト】関連事業（全4事業：2-1-2～2-1-5）	
2-1-2	福島新エネ社会構想等推進技術開発事業	3
	（1）ハイテクプラザ再エネ技術高度化事業	
	① 水素・燃料アンモニアに適したプラント用材料の溶接技術開発	
	② 風車ブレード保護材の劣化メカニズム解明と評価手法開発	
2-1-3	チャレンジふくしま「ロボット産業革命の地」創出事業	4
	（1）ロボット制御技術等実証事業	
	① 協働ロボットによる検査作業省力化の研究	
	② ドローン飛行空域の電磁環境調査とドローンの耐電磁特性評価	
	（2）ロボット部材研究開発事業	
	① WAAMにおける熱処理の影響と切削性の評価	
2-1-4	福島県オリジナル清酒製造技術の開発	4
	① 【新】酵母開発による福島県オリジナル清酒の高品質化	
2-1-5	オールふくしまの酒づくり支援事業（農林水産部事業）	5
	（1）県オリジナル酒米新品種開発事業	
	【一般事業】	
2-1-6	基盤技術開発支援事業	5
	（1）福島県産資源に由来する食品製造用微生物の探索	

	(2) 木製家具製作のためのC A E適用手法の開発	
	(3) 難素材を高伸度化する弾性着衣の開発	
	(4) 【新】植物資源を基盤とした環境配慮型染色に関する研究	
	(5) 【新】ニードルベッド洗浄技術の高度化研究	
	(6) 【新】福島県産ワインの産地形成に向けた醸造用ブドウの特性把握 と醸造技術の確立	
	(7) 【新】漆下地のヤセに関する研究	
2 - 1 - 7	産業廃棄物減量化・再資源化技術支援事業	6
	(1) 動植物性残渣削減のための製造技術開発	
	① 動植物性残渣の削減に向けた製造技術の開発と未利用資源探索	
	(2) 【新】木くず・繊維くずの再資源化に関する技術開発	
	① 【新】木くず・繊維くずの再資源化に関する技術開発	
2 - 1 - 8	外部資金等活用研究事業	6
2 - 1 - 9	共同研究等	6
	① 県産味噌の色調向上に関する加工方法および微生物技術の開発	
2-2	技術支援	7
④	【しごとづくりプロジェクト】関連事業(全2事業:2-2-1~2-2-2)	
2 - 2 - 1	企業価値向上推進事業	7
	(1) ものづくり中小企業開発・開拓推進事業	
2 - 2 - 2	デジタル技術を活用したものづくり企業のスマート化支援事業 (一部再掲)	7
	(1) デジタル技術導入支援事業	
	(2) 地域産業の魅力向上支援事業	
	(3) デジタル技術高度化支援事業	
④	【産業推進・なりわい再生プロジェクト】関連事業(全4事業:2-2-3~2-2-6)	
2 - 2 - 3	航空宇宙産業集積推進事業	8
2 - 2 - 4	チャレンジふくしま「ロボット産業革命の地」創出事業(一部再掲)	8
	(1) ふくしまロボット産業推進協議会事業	
	① 福島県廃炉・災害対応ロボット研究会運営事業	
2 - 2 - 5	廃炉関連産業集積基盤構築事業	8
	(1) 廃炉関連産業技術支援体制基盤構築事業	
2 - 2 - 6	放射能測定事業	8
	【一般事業】	
2 - 2 - 7	基盤技術開発支援事業(一部再掲)	8
	(1) 福島地域支援プロジェクト	
	(2) いわき地域支援プロジェクト	
	① いわき地域技術支援事業	
	② 化学プラント保全技術高度化プロジェクト(第2期)	
2 - 2 - 8	技術相談	9
2 - 2 - 9	依頼試験	9
2 - 2 - 10	施設・設備使用	9
2 - 2 - 11	技術移転	9

2-2-12	酵母開発・頒布	9
2-2-13	技術者研修・講習会等	9
2-2-14	講師派遣	9
2-2-15	機器整備	9
2-2-16	大学院との連携	9
2-2-17	放射光利活用推進事業	9
2-3	人材育成	10
2-3-1	「そだてる研究室」事業	10
	(1) 大学院博士課程派遣	
	(2) 技術士等資格取得	
	(3) 探究型研究開発	
	(4) 企業等実地研修	
2-4	情報の収集と発信	10
2-4-1	研究成果発表会	10
2-4-2	研究会活動	10
2-4-3	地域との交流	10
2-4-4	インターンシップ（研修生）の受入	10
2-4-5	市町村等との連携	10
2-4-6	広報活動	10

1 ハイテクプラザ組織と事業方針

1-1 ハイテクプラザ組織



※再生可能エネルギー・水素導入、廃炉、航空宇宙、医療機器、環境・リサイクル等の分野は、部門横断型の支援対応を実施する。

1-2 ハイテクプラザ第Ⅲ期中期ビジョン【要約】

1-2-1 基本方針

ハイテクプラザの基本理念である「技術支援を使命とする開かれた産業支援機関」を実現すべく、「福島県ハイテクプラザ第Ⅲ期中期ビジョン」（令和4年度～令和8年度）に基づき、当所の果たす役割を遂行する。そのため、五年後の目指す姿に向かって機能強化を図り、4つの基本活動（「研究開発」、「技術支援」、「人材育成」、「情報の収集と発信」）に則った事業展開を行うことで、県内企業の技術支援をはじめとしたものづくり産業の技術的諸問題の解決に取り組む。

1-2-2 ハイテクプラザの果たす役割

「企業に対する技術支援、成長産業への先導」

「福島イノベーション・コースト構想や再生可能エネルギー・水素普及促進等、本県重点施策への貢献、地域に根ざした従来産業の振興」

「次代を担う技術者の育成」

「技術情報の収集と発信、企業と研究機関や支援機関との橋渡し」

1-2-3 五年後の目指す姿

- ① 多様な技術や急速な技術の進歩、変化にも素早く対応できる組織体制
- ② ロボット、再生可能エネルギー、水素等の成長産業においても県内企業を先導できる高い技術力
- ③ 県内ものづくり産業を支える企業技術者の育成拠点
- ④ 県内企業への技術情報の発信基地

1-2-4 基本活動

（1）研究開発

県の重点施策に沿った分野、基盤技術分野及び地域特有の基幹産業分野の研究開発に取り組み、企業に成果を移転する。

（2）技術支援

支援メニューである技術相談、依頼試験・設備使用、企業訪問等の取組みを強化し、これらの活動を通して企業の技術課題の解決を図る。

（3）人材育成

職員の技術支援力を強化するために、組織的な人材育成に取り組む。

（4）情報の収集と発信

最新の技術動向や鮮度の高い情報の収集に努めるとともに、それらの情報を企業目線でわかりやすく発信する。

詳細については、「福島県ハイテクプラザ第Ⅲ期中期ビジョン」（令和4年度～令和8年度）を参照。（<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/hightech/plan.html>）

※ 計画期間の中間にあたる令和6年度に改定した。

2 事業計画概要

2-1 研究開発

㊦ 【しごとづくりプロジェクト】関連事業（全1事業：2-1-1）

2-1-1 デジタル技術を活用したものづくり企業のスマート化支援事業

デジタル技術の導入により、業務効率化や生産性向上に繋げるとともに、働きやすさなど職場環境の向上や企業の魅力向上に繋がる支援を行う。

(1) 地域産業の魅力向上支援事業

研究課題	研究内容
① 製造技術のデジタル化に向けた日本酒IoT実証研究 (R7～R8)	日本酒の高品質化、品質の安定化を図るため、温度などを管理するIoTセンサを開発し、品質管理指標をデータ化することにより、日本酒製造技術のデジタル化を実現する。
② 繊維素材の風合い及び特性の可視化技術に関する研究 (R7～R8)	県内繊維企業（織物、ニット、縫製）の設計、加工、評価に関わる技術情報を紐づけ、高付加価値製品の製造と評価に反映することで、開発期間の短縮や製品価値の訴求力強化に繋げる。

(2) デジタル技術高度化支援事業

研究課題	研究内容
① 【新】製造業DXのための生産スケジューリング最適化に関する研究 (R8)	生産スケジューリング最適化手法の確立に向けて技術調査及び市場調査を行い、企業の課題及びニーズを把握する。また、生産スケジューリング最適化に適用可能なアルゴリズムを検証する。

㊦ 【産業推進・なりわい再生プロジェクト】関連事業

(全4事業：2-1-2～2-1-5)

2-1-2 福島新エネ社会構想等推進技術開発事業

福島新エネ社会構想の実現に向け、再生可能エネルギーに関する製品開発や技術の実用化に向けた研究開発を関係機関と連携して実施し、県内企業等が有する要素技術の高度化を支援する。

(1) ハイテクプラザ再エネ技術高度化事業

研究課題	研究内容
① 水素・燃料アンモニアに適したプラント用材料の溶接技術開発 (R7～R8)	耐食性の高い二相ステンレスを溶接してプラントを製造する際に必要となる溶接条件の確立及び評価技術の開発を行い、保全・製造を担う中小企業の技術力向上、競争力強化を図る。

<p>② 風車ブレード保護材の劣化メカニズム解明と評価手法開発 (R7～R8)</p>	<p>多様な素材からなる風車ブレード保護材を统一的に評価可能な耐久性評価手法を開発する。高耐久性なブレード保護材の開発指針を県内企業に提供することで、拡大する風力発電市場における競争力強化に寄与する。</p>
---	--

2-1-3 チャレンジふくしま「ロボット産業革命の地」創出事業

震災からの産業復興のため、成長著しいロボット産業の集積を目指し、ロボットの要素技術開発を実施する。

(1) ロボット制御技術等実証事業

研究課題	研究内容
<p>① 協働ロボットによる検査作業省力化の研究 (R6～R8)</p>	<p>製造現場における検査工程の省力化・自動化を実現するため、画像処理・AI技術と協働ロボットの制御技術を連携した検査システムの開発を行う。また、ハイテクプラザの協働ロボットを活用した曲面形状部品の検査ラインを構築し、実証実験を行う。</p>
<p>② ドローン飛行空域の電磁環境調査とドローンの耐電磁特性評価 (R6～R8)</p>	<p>空域の電磁環境の調査及びドローンの耐電磁性を評価し、電磁環境内でドローンが障害を受けずに飛行するための要件を明らかにすることで、電波障害対策の指標を確立する。</p>

(2) ロボット部材研究開発事業

研究課題	研究内容
<p>① WAAMにおける熱処理の影響と切削性の評価 (R7～R9)</p>	<p>WAAM積層造形物に対する熱処理の影響や加工特性を評価することで、熱処理を必要とする材料の形状作製手順を確立する。</p>

2-1-4 福島県オリジナル清酒製造技術の開発

県産清酒をブランド化し、維持・発展させるため、県産資源（県オリジナル清酒酵母、県オリジナル酒造好適米）を活用した製造技術を開発する。

研究課題	研究内容
<p>① 【新】酵母開発による福島県オリジナル清酒の高品質化 (R8～R10)</p>	<p>カプロン酸エチル高生産酵母を開発することで福島県オリジナル清酒のさらなる酒質の向上を図る。また、原料米と酵母の組合せの選択肢増加により酒質タイプの多様性拡大を図る。</p>

2-1-5 オールふくしまの酒づくり支援事業（農林水産部事業）

（1）県オリジナル酒米新品種開発事業

福島県農業総合センターで育種された酒造用有望系統について、酒米分析や試験醸造により酒造適性に優れた品種を選抜することで、県外産の酒米に替わる福島県オリジナル酒造好適米品種を早急に開発する。

また、吸水性や消化性などの酒造特性を詳細に把握し、高品質な清酒の醸造方法を確立する。

【一般事業】

2-1-6 基盤技術開発支援事業

震災からの復興やグローバル化などの課題に直面する地域産業の振興のため、地域のニーズに即したきめ細かな支援を実施するとともに、先導的又は独自の技術開発等を推進し、研究成果を地域産業に普及する。

研究課題	研究内容
（1）福島県産資源に由来する食品製造用微生物の探索 （R 6～R 8）	県内の豊かな資源（農産物・水産物・水源・草花等）から食品製造に利用可能な微生物を探索・選抜して一覧化することで、県内食品製造業者における利活用を推進する。
（2）木製家具製作のためのCAE適用手法の開発 （R 6～R 8）	木製家具の強度をコンピュータ上でシミュレーション（CAE）により計算する手法を確立することで、必要な強度を狙って設計できるようになるほか、強度不足による再設計が減ることで製品開発期間を短縮し、木材加工業界の振興に貢献する。
（3）難素材を高伸度化する弾性着衣の開発 （R 7～R 8）	高強度で高機能な特殊繊維は様々な分野で使われる一方で、加工機器は摩擦、摩耗、損傷の危険に常にさらされている。そこで特殊繊維に伸度を与える糸加工技術を確立し、機器損傷や生産性低下を抑える加工糸と素材を県内企業へ提供する。
（4）【新】植物資源を基盤とした環境配慮型染色に関する研究 （R 8～R 9）	本県の植物資源である菊、桃、柿等を用いた天然染色と合成染料を組み合わせた環境配慮型の染色加工技術を開発することで、耐光性と堅牢度を備えたサステナブルな製品開発を支援する。
（5）【新】ニードルベッド洗浄技術の高度化研究 （R 8～R 9）	高品質な生産を維持するために必要なVベッドタイプのニードルベッド洗浄機の洗浄プログラム／前処理方法を開発し、ニードルベッド洗浄機の利用普及を図る。また、編み機の状態を定量化し、製造における編み機管理の指針を作成する。
（6）【新】福島県産ワインの産地形成に向けた醸造用ブドウの特性把握と醸造技術の確立 （R 8～R 10）	県産醸造用ブドウの醸造適性に関する成分分析を実施し、安定醸造の実現に必要な技術の確立を目指す。また、果皮由来の土着微生物の活用による福島県産ワインの差別化を図る。

<p>(7) 【新】 漆下地のヤセに関する研究 (R 8～R 9)</p>	<p>下地工程において「ヤセ」と呼ばれる不具合が発生するため、条件を変えて製作した下地を定量的に評価することで、ヤセの原因解明を行うとともにヤセにくい下地の製作条件を提案する。</p>
--	--

2-1-7 産業廃棄物減量化・再資源化技術支援事業

循環型社会の構築に向け、産業廃棄物排出事業者に対して技術支援することで、産業廃棄物の減量化・再資源化を促進する。

(1) 動植物性残渣削減のための製造技術開発

研究課題	研究内容
<p>① 動植物性残渣の削減に向けた製造技術の開発と未利用資源探索 (R 6～R 8)</p>	<p>原料米の精米により生じる米糠の削減と高品質な清酒製造を両立するための技術開発を行う。また、食品製造で発生する果実皮等の加工残渣について、食品製造、堆肥等に再利用するための成分分析や課題調査を行う。</p>

(2) **【新】** 木くず・繊維くずの再資源化に関する技術開発

<p>① 【新】 木くず・繊維くずの再資源化に関する技術開発 (R 8～R 10)</p>	<p>産業廃棄物である木材加工企業から発生する木くず及び縫製企業から発生する繊維くずを再資源化により減量し、アップサイクル化に関する技術開発及び環境負荷を低減した繊維製品の提案を行う。</p>
--	--

2-1-8 外部資金等活用研究事業

企業における事業化を促進するため、受託研究や競争的資金制度などの外部資金等の活用により、研究を実施するとともに、研究成果の技術移転を図る。

2-1-9 共同研究等

大学等の研究機関や県内企業等と共同で産業振興に寄与する研究開発を推進し、複雑・高度化した技術的課題の解決を図ることで、製品化・技術の導入に繋げる。

研究課題	研究内容
<p>① 県産味噌の色調向上に関する加工方法および微生物技術の開発 (R 6～R 8)</p>	<p>味噌色調に影響する大豆の蒸煮条件の最適化及び優良な味噌用微生物の分離を行い、褐色原因のメイラード反応を抑制する最適仕込み方法を検討することで、鮮やかな色調を持つ県産味噌の製造方法を確立する。</p>

2-2 技術支援

㊦ 【しごとづくりプロジェクト】関連事業（全2事業：2-2-1～2-2-2）

2-2-1 企業価値向上推進事業

（1）ものづくり中小企業開発・開拓推進事業

県内企業等の技術課題解決及び製品開発について、技術指導等の支援を行うことで企業競争力の強化を図る。

取組	内容
① 企業発掘	企業訪問等により、開発意欲のある企業を発掘するとともに、技術課題の抽出及び解決を図る。
② 開発支援	企業が直面している技術課題をハイテクプラザが代わりに解決し、その成果を技術移転することで企業の製品開発等を支援する。
③ 現場支援	企業の抱える技術課題解決のため、企業の製造現場に職員・外部講師を派遣し、又はハイテクプラザに企業の従業員を受入れ、人材育成等を支援する。

2-2-2 デジタル技術を活用したものづくり企業のスマート化支援事業

（一部再掲）

スマート化実証ラボを活用したデジタル技術活用に向けた技術サポートやトレーニング、セミナーによる普及啓発、専門家による助言・指導を行い、県内企業へのデジタル技術導入を促進する。

事業	内容
（1）デジタル技術導入支援事業 （R6～R8）	セミナーによる普及啓発や専門家による助言・指導、コーディネータによる企業訪問、ワークショップによる製造現場の課題解決策の検討等を行うことで、デジタル技術導入のモデル企業を創出し、県内ものづくり企業のスマート化を支援する。
（2）地域産業の魅力向上支援事業 （R6～R8）	伝統工芸分野等の地域産業のデジタル技術導入について支援する。生産性向上や商品の魅力アップに向け、シミュレーション等の技術を活用した試作支援を行う。
（3）デジタル技術高度化支援事業 （R6～R8）	ハイテクプラザが運営するふくしまAI・IoT技術研究会において、スマート化実証ラボを活用したデジタル技術活用に向けた技術的なサポートやトレーニングを行う。また、AI・IoT試作キットを開発し、製造現場への試験導入を行う。

④ 【産業推進・なりわい再生プロジェクト】関連事業

(全4事業：2-2-3～2-2-6)

2-2-3 航空宇宙産業集積推進事業

今後の成長が見込まれる航空宇宙産業への県内企業の参入を支援・促進するとともに、蓄積した技術・製品を当該分野に展開するため、技術セミナー、情報提供等を実施する。また、表面粗さ・輪郭形状統合測定機等を使用した研修を実施する。

2-2-4 チャレンジふくしま「ロボット産業革命の地」創出事業（一部再掲）

(1) ふくしまロボット産業推進協議会事業

① 福島県廃炉・災害対応ロボット研究会運営事業

原子力発電所の廃炉関連産業への県内企業等の参入を支援・促進するとともに、蓄積した技術・製品を災害対応分野に展開するため、「福島県廃炉・災害対応ロボット研究会」を運営し、廃炉実務者や研究者とのディスカッション、技術セミナー等の開催により技術マッチング支援に取り組む。

2-2-5 廃炉関連産業集積基盤構築事業

(1) 廃炉関連産業技術支援体制基盤構築事業

県内企業が廃炉関連産業の参入に必要となる技術力の向上や人材の育成を図るため、巡回訪問やセミナー開催による技術支援を展開する。また、個々の企業の課題に即した包括的な技術支援を行うことで参入を後押しする。

2-2-6 放射能測定事業

風評被害への対応として、県内企業等を対象に工業製品の放射線量測定と加工食品の放射能測定を行うことで、検査に伴う事業者の負担軽減、検査の迅速化及び検査頻度の向上を図る。

【一般事業】

2-2-7 基盤技術開発支援事業（一部再掲）

(1) 福島地域支援プロジェクト

県北地域の企業を訪問し、研究成果、支援メニュー等の業務を紹介した上で、個々のニーズに即した事業を実施することで、企業の課題解決や製品開発、人材育成を支援する。

(2) いわき地域支援プロジェクト

① いわき地域技術支援事業

いわき地域の産業支援機関と連携した技術相談会の開催、業界団体等の会議への参加により、研究成果、支援メニュー等の業務を紹介した上で、個々のニーズに即した事業を実施することで、企業の課題解決や製品開発、人材育成を支援する。

② 化学プラント保全技術高度化プロジェクト（第2期）（R7～R9）

いわき地域に集積する化学工場の保守・修繕の需要増に対し、地元企業が対応できるようにするため、溶接技術や組織観察等の評価技術の向上を目的とした人材育成を実施する。また、参加企業間における情報共有を活性化させることで、地域内での連携強化を推進する。

2-2-8 技術相談

県内企業等が抱える課題等に対して、個別面談、電話、メール、ウェブ相談窓口及びインターネットを利用したオンラインでの面談を活用して、技術相談に対応する。

2-2-9 依頼試験

県内企業等の依頼に応じ、各種の試験・分析を行い、迅速かつ正確な試験結果を提供する。

2-2-10 施設・設備使用

保有する装置・機器類を県内企業等に対して開放する。

2-2-11 技術移転

保有する技術や研究開発の成果を、各種展示会への出展や学会誌等への論文投稿等により広く公開するとともに、企業訪問や各種広報活動により県内企業等に周知・移転し、新製品開発や技術課題の解決に繋げる。

2-2-12 酵母開発・頒布

県内企業等が使用する酵母について研究・開発を行い、醸造に適した活性を持つ酵母を頒布する。

2-2-13 技術者研修・講習会等

(公財)福島県産業振興センター等と連携し、県内企業等を対象とする先端技術の普及をはじめとした研修・講習会を企画・開催する。

2-2-14 講師派遣

県内市町村の商工団体、産業支援機関等で実施している技術研修に講師として派遣し、講義・実習等を行う。

2-2-15 機器整備

企業の新産業分野への参入促進に必要な先端機器や製品開発段階で必要となる設備を計画的に導入・更新することで、技術支援、依頼試験、施設・設備等の開放、試験研究等の機能強化を図る。

2-2-16 大学院との連携

(大)福島大学等の県内大学において、客員教授等として大学院生の教育指導にあたる。

2-2-17 放射光利活用推進事業

県内企業の放射光施設利活用を促進するため、(大)福島大学の放射光利用プロジェクト研究所に参画し、県内企業の利用に向けた連携・支援を行う。また、職員の放射光施設利活用スキルの向上と他公設試、大学等とのネットワーク形成を目的に技術課題解決の事例創出と共有を図る。

2-3 人材育成

2-3-1 「そだてる研究室」事業

技術支援機能の維持・強化を図るため、職員の技術力や指導力の向上に取り組む。

(1) 大学院博士課程派遣

先導的な研究や高度な技術指導に対応できる専門性の高い職員を育成するため、大学院博士課程に職員を派遣する。

(2) 技術士等資格取得

高い技術水準を有する職員を育成するため、技術士等資格の取得を推進する。

(3) 探究型研究開発

次世代を担う研究人材を育成するため、短期間で小規模な研究課題を対象に、提案から実施、報告までの一連の流れを若手職員が主体的かつ体系的に実施する。

(4) 企業等実地研修

現場課題に即した支援に必要となる企業視点を養うため、県内企業等の生産現場や開発現場に職員を派遣し、視察・体験により現場への理解を深めることで、より実効性の高い技術支援に繋げる。

2-4 情報の収集と発信

2-4-1 研究成果発表会

令和7年度に取り組んだ研究や支援事例について、研究成果発表会を開催し、その成果を広く県内企業等に普及・周知する。

2-4-2 研究会活動

ものづくり基盤技術のうち、技術の高度化が著しい分野を中心として研究会を開催し、新技術の情報収集や技術勉強会、課題討論等を行う。

2-4-3 地域との交流

次世代を担う若年世代を対象にハイテクプラザの知見や設備を活用したイベントを開催し、ハイテクプラザの役割や機能について理解を深めてもらうことにより、将来の理系人材育成に貢献する。

2-4-4 インターンシップ（研修生）の受入

県が実施する大学等の学生向けインターンシップのほか、県内の高等学校等の生徒に対してハイテクプラザの業務に関係する研修や就業体験を行う。

2-4-5 市町村等との連携

県内市町村、商工団体及び産業支援機関に対し、ハイテクプラザが実施する事業の情報を提供するとともに、市町村等と連携して企業等が抱える技術課題の解決を目指す。

2-4-6 広報活動

各種団体によるイベントへの参加、視察見学対応、インターネットをはじめとする様々な広報媒体により、ハイテクプラザの認知度のさらなる向上及び利用企業数の拡大を図る。

福島県ハイテクプラザ事業計画 令和8年度（2026年度）

令和8年4月発行

U R L <https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/hightech/>

E-Mail hightech-renkei@pref.fukushima.lg.jp

発行

福島県ハイテクプラザ（郡山本部）

〒963-0297 郡山市待池台1丁目12番地

代 表	024-959-1741
企 画 科	024-959-1736
管 理 課	024-954-4968
産 学 連 携 科	024-959-1741
金 属 ・ 物 性 科	024-959-1737
分 析 ・ 化 学 科	024-959-1738
繊 維 ・ 高 分 子 科	024-959-1739
電 子 ・ 情 報 科	024-954-4961
機 械 ・ 加 工 科	024-954-4962
ロ ボ ッ ト ・ 制 御 科	024-954-4963
F A X	024-959-1761

福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター

〒965-0006 会津若松市一箕町大字鶴賀字下柳原 88 番 1

代 表	0242-39-2100
醸 造 ・ 食 品 科	0242-39-2977
産 業 工 芸 科	0242-39-2978
F A X	0242-39-0335

福島県ハイテクプラザ南相馬技術支援センター

〒975-0036 南相馬市原町区萱浜字新赤沼 152 番 55

代 表	0244-25-3060
機 械 加 工 ロ ボ ッ ト 科	0244-25-3060
F A X	0244-25-3061

編集

福島県ハイテクプラザ 企画科